

平成30年10月2日

お 知 ら せ

課名	健康推進課
担当	秋山、村上、浜辺
内線	2709、2717、2745
直通	226-7331

風しんの感染予防について（注意喚起）

関東地方（東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県など）を中心に、風しん患者の報告数が例年と比較して大幅に増加している中、岡山県内でも2名の風しん患者が発生したため、先般注意喚起を行ったところです。

10月1日現在、県内の風しん患者が9名（20歳代から50歳代の男性）となったことから、次のとおり、県民へ再度注意喚起を図ります。

記

1 風しんの予防

- ・風しんの予防には予防接種が有効です。
- ・予防接種が必要かわからない方は抗体検査を受けましょう。
- ・検査の結果、抗体が十分でない場合には予防接種を検討してください。

2 特に注意が必要な方

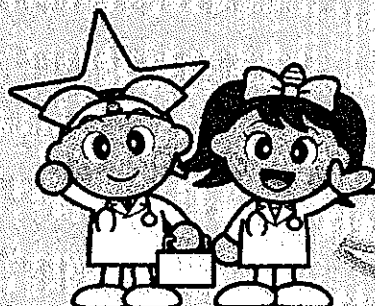
- ・30代から50代の男性は、風しんの抗体価が低い傾向にありますので、注意してください。
- ・妊娠中の女性が感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓などに障害が起きる恐れ（先天性風しん症候群）がありますので、注意してください。

※ 岡山県では先天性風しん症候群の発生予防を目的として、風しん抗体検査の助成事業を行っています。詳しくは、岡山県健康推進課のホームページ（<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/36/>）をご覧ください。

3 かかったかな？という時は

- ・発熱、発しん、リンパ節の腫れ等、風しんと思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡してから受診してください。

生まれてくる赤ちゃんのために 風しん抗体検査を受けましょう



©岡山県「ももっち・うらっち」

岡山県（岡山市・倉敷市以外）・
岡山市・倉敷市では、風しん抗体検査を

無料

で実施しています。

妊娠初期の妊婦さんが風しんにかかると、
生まれてくる赤ちゃんに影響することがあります。
風しんは予防接種で予防できます。



無料抗体検査対象者で、罹患歴又は予防接種歴が明らかでない方は、予防接種が必要かどうかを調べるため、抗体検査を受けましょう。

特に昭和37年度～平成元年度生まれの男性と昭和54年度～平成元年度生まれの女性は、十分な免疫がないことが多いとされています。

無料抗体検査対象者

岡山県内に在住し、次のいずれかに該当する方

- (1) 妊娠を希望する女性とその同居者
- (2) 風しんの抗体価が低い妊婦の同居者

※1歳未満の方、過去に風しん抗体検査を受けたことがある方、明らかに風しんの予防接種歴がある方、検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある方のいずれかに該当する方は除きます。

持参するもの

- 住所がわかる公的書類（健康保険証、運転免許証など）
- 「風しん抗体価が低い妊婦の同居者」は、妊婦の風しん抗体価が確認できる書類（抗体検査結果通知、妊婦検診結果記録など）

※受検できる医療機関等については、詳しくは各自治体のホームページをご覧ください。

岡山市・倉敷市以外にお住まいの方

風しんの無料抗体検査 岡山県 検索

岡山市にお住まいの方

風しんの無料抗体検査 岡山市 検索

倉敷市にお住まいの方

風しんの無料抗体検査 倉敷市 検索

☆検査の結果、抗体価が低いと判定された場合は、予防接種を受けることを検討してください。予防接種に対して助成を行っている市町村もあります。（県ホームページに一覧表掲載。詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。）

☆風しんに対する免疫を持っている人の割合が全体的に高くなると、地域での風しん防止に繋がります。

問い合わせ先

岡山県保健福祉部健康推進課 086-226-7331

